

流山とりだより

流山野鳥同好会

No.145

2023年10月10日



●オナガ

ヒナは飛べないうちに巣立ちします。

地面に落ちると危険がいっぱい。

夏の日差し、他の動物、人からも・・・。

親鳥たちは、ギャーギャーと鳴きながら見守るばかりです。

巣立ちヒナが、すべて生き残るわけではありません。

早く草藪に身を隠して！

元気に育って。負けるな・・・。

自慢の尾羽を優雅に装う姿は、とても素敵なのです。

2023.07.21 江戸川台

撮影：森岩 好明

<市外観察会>

●葛西臨海公園

2023年9月3日

相馬利雄



葛西臨海公園マップ



鳥類園

(出典：葛西臨海公園ホームページより)

5月7日に「葛西臨海公園」を予定しましたが、雨で中止となりました。今回は再設定のリベンジ観察会です。流山市では見ることの少ない、シギ・チドリが目当てとなります。葛西臨海公園駅には9名の会員が集合しました。台風12号の影響で、午後3時ころから雨模様とのこと。「酷暑よりいいや」くらいの気持ちで、いざ出発です。

「葛西臨海公園」は臨海公園と海浜公園からなり、広大な敷地には水族館や大観覧車などがあります。家族連れでにぎわう自然豊かなレジャー施設です。しかしながら東側の鳥類園は、人通りも少ない絶好の探鳥スポットとなっています。

まず「上（かみ）の池」(淡水池)の観察です。コサギ、ダイサギ、アオサギなどのサギ類が悠然とたたずみ、カイツブリはのんびりと浮かんでいました。春先にはクロツラヘラサギが杭の上で休んでいたのを思い出し、「ここにいたらなあ」と未練たらたら・・・その時撮った写真を皆さんに見てもらいました。カワセミ池まで進むと、観察窓のすぐ先にゴイサギの幼鳥（ホシゴイ）が忍者のごとく草間にひそんでいました。鳥たちの羽模様は、実にうまく自然に溶け込みますね。

「下（しも）の池」(汽水池：海水が入っている)まで進み、擬岩ポイントからの待伏せ観察です。ここは岩石模様で覆われた、鳥たちからは完全シャットアウトのシェルターのような観察窓になっています。アオアシサギが目の前に・・・しばらくの間じっとたたずんでくれました。3羽のイソシギが飛んできて、チョコマカとシギ歩き。この「擬岩」は季節によって楽しめる絶好の観察ポイントです。



ダイサギ



アオサギ



ゴイサギ (幼鳥：ホシゴイ)

鳥類園を時計回りに移動してほどなく海岸へ着きました。海岸沿いにある「アメリカデイゴ」は、初夏に真っ赤な花を咲かせます。青葉となった夏模様でも、気分は沖縄です。東側の海岸沿いある屋根付き休憩所で昼食をとり、ここで「ゆとりコース」は終了となりました。鳥合わせは21種。

さて、一息ついてから「健脚コース」のスタート。「西なぎさ・東なぎさ」へと再出発です。渚橋へ向かうと渡りはじめに、イソヒヨドリの声を聞きました。姿見えずであきらめて進むことにします。橋の上から「東なぎさ」をスコープで覗くと、カワウとカモメ類でいっぱい。無数の中にやっとダイシャクシギを見つけました。何羽かいるようです。ここからではあまりに遠いので橋を渡り、「西なぎさ」の堤防から「東なぎさ」を観察することにしました。堤防では潮風に吹かれ、しばらくゆっくりしてから帰路に着きました。

渚橋を渡り終える間際に、来るときに聞いた「イソヒヨドリ」を確認。それも2羽が並走飛行をしながら松林を飛び交っています。巣立ちした幼鳥で2羽ともオスタイプです。一度だけ松の幹に止まり、鳴くところまで見る事ができて癒しの時間となりました。ここで「健脚コース」の鳥合わせをし、21種+4種で計25種。その後、キジバトを追加して最終合計は26種となりました。

台風12号の影響を感じながらも、無事に終わることができましたね。お疲れさまでした。来期は「クロツラヘラサギ」を見に行きましょう。

<編集より>

葛西臨海公園は南流山から40分と交通の便がよく身近な観察地です。冬はカモたちも大集結、お勧めします。



イソシギ



アオアシシギ



イソヒヨドリ



アメリカデイゴ



クロツラヘラサギ

◆観察した鳥

カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ゴイサギ、カルガモ、
ダイシャクシギ、アオアシシギ、イソシギ、ウミネコ、セグロカモメ、
キジバト、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、イソヒヨドリ、
シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、
ハシボソガラス、ハシブトガラス
以上「ゆとりコース」まで (21 種)。「健脚コース」まで (+ 5 = 26 種)

◆参加者した人

今泉 毅、今泉好美、落合 聡、川上和雄、菊池和子、相馬利雄、
服部洋之、東原 聡、森岩好明

以上 9 名

9月の定例観察会は、利根運河と新川耕地沿いで行われました。残暑が厳しい中での観察会でしたが、体調を崩すこともなく、野鳥観察を楽しむことができました。

9時に運河駅に集合。コースの説明と、ツツドリやゴイサギが見られるかもしれないと聞き、期待に胸を膨らませスタートしました。

初めに利根運河水辺公園を訪れました。まだ冬のカモ類は見られませんでした。留鳥のカルガモは沢山見られました。カルガモと一緒にダイサギも見られました。対岸にはセグロセキレイが鳴きながら飛んでいました。

利根運河沿いを歩いて行くと、アオサギが川の中にいました。川の周りは草で覆われていましたが、アオサギは大きいので良く観察できました。他に鳥の姿は見られませんが、ホオジロの鳴き声が聞こえていました。

ツツドリに期待し、におどり公園に入りました。桜の木に灰色の鳥が止まっており、一瞬ドキッとしましたが、よく見るとキジバトでした。近づいても逃げず良く観察できました。

ここで休憩をとり、会長さんからトケン類の解説をして頂きました。カッコウ、ホトトギス、ツツドリ、ジュウイチの特徴や鳴き声を教わりました。ますますツツドリを見たくなりましたが、残念ながらこの日は見られませんでした。

ツツドリはいませんでした。公園内ではエナガ、シジュウカラ、メジロ、コゲラの混群が目の前に現れ、長い時間見ることができたので良かったです。

におどり公園を抜けて再び利根運河を歩いて行きました。川を見ると、期待していたゴイサギが木の中に隠れていました。川の中の石の上に止まっている個体もあり、数羽いるようでした。見る限り全て幼鳥で、いわゆるホシゴイでした。



ゴイサギ（幼鳥：ホシゴイ）



カルガモ



ダイサギ



アオサギ

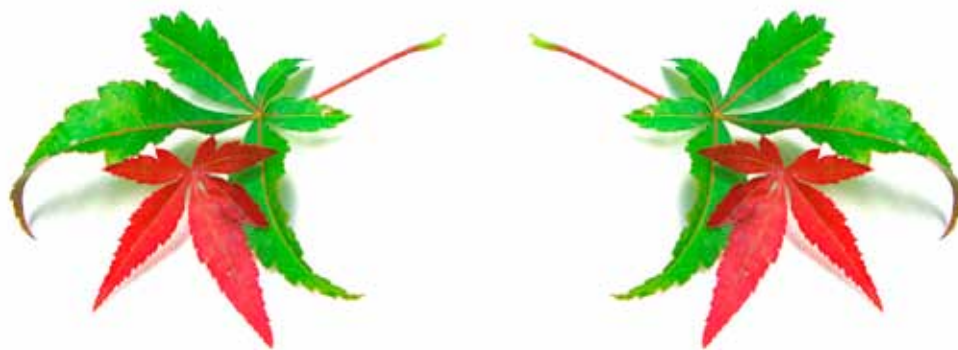
新川耕地の方を見ると、かなり遠かったですがチュウサギが田んぼにいるのが見えました。また、モズの声も聞くことができました。

新川耕地を見終わったら、再びおどり公園に入って鳥合わせを行いました。本日の確認数は21種類でした。まだ鳥が少ない時期ですが、期待していたゴイサギが見られ、他にも近くで観察できた鳥もいて、楽しむことができました。暑い中参加された方、お疲れ様でした。

帰る途中、利根運河でカワセミを見たという方がいました。更にコサギが川の中にいたので、2種類追加して23種類となりました。

<編集より>

余談ですが、9月24日に我孫子の将門神社で「トケン類」の尾羽を拾いました。カッコウかツツドリか？ しばし図鑑と睨めっこ・・・そっくりです・・・ん～、わかんない??





混群にいたエナガ



ツツドリ (幼鳥) 2023.09.14



◆観察した鳥

カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、ゴイサギ、カルガモ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、モズ、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

以上 23 種

◆参加した人

今泉 毅、今泉好美、落合 聡、川上和雄、菊池和子、小林八重子、鈴木淑子、相馬利雄、友水清之、牧田浩美、牧田久寿、森岩好明、矢嶋賢司、牛山直美、牛山閃里 (小 1)

以上 15 名

◆鳥だより——フィールドノート拝見

とんでもない猛暑と異常気象の今年の夏でしたが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。
流山の夏は鳥があまり見られない季節ですが、それでもいろいろな鳥たちが観察されています。

新川耕地、江戸川地区

- | | |
|---|------|
| 7月 9日 …コムクドリ (20+)、ムクドリ、アマサギ、チュウサギ、ダイサギ、カルガモ、オオヨシキリ、
ホオジロ | 若林幹夫 |
| 7月14日 …カワウ、ダイサギ、チュウサギ、アマサギ | 若林幹夫 |
| 7月16日 …カワウ、アオサギ、チュウサギ、ゴイサギ (幼鳥) | 落合 聡 |
| 7月23日 …カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、ムクドリ、コムクドリ、セッカ、
ツバメ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス | 若林幹夫 |
| 8月11日 …カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、ノスリ (2)、ツバメ、番外：イタチ | 若林幹夫 |
| 8月28日 …チョウゲンボウ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コムクドリ、ムクドリ、スズメ、
ツバメ、ハクセキレイ、キジバト、ヒバリ | 若林幹夫 |
| 9月 3日 …サシバ、カワセミ | 若林幹夫 |
| 9月10日 …モズ (♂)
カルガモ、カワウ、ダイサギ、コサギ、セッカ、ハクセキレイ、イソヒヨドリ (♀)、
チョウゲンボウ | 落合 聡 |
| 9月14日 …カワウ、カルガモ、ダイサギ、ツバメ | 若林幹夫 |
| 9月16日 …チョウゲンボウ、亜種チュウダイサギ、ホオジロ (♂) | 落合 聡 |
| 9月18日 …ケリ (1)、カルガモ、カワウ、ダイサギ、チョウゲンボウ | 若林幹夫 |
| 9月20日 …アオサギ、ダイサギ、タシギ、カルガモ、コガモ、ツバメ、キジ、サシバ、モズ、ムクドリ、
スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス | 若林幹夫 |

新川耕地・江戸川地区



カワウ 2023.07.16 落合



アオサギ 2023.07.16 落合



チュウサギ 2023.07.16 落合



ゴイサギ (幼鳥) 2023.07.16 落合



モズ (♂) 2023.09.10 落合



チョウゲンボウ 2023.09.16 落合

大畔地区

8月13日 …アオバト

山下直樹

南流山地区

9月22日 …イツヒヨドリ

友水清之

東初石地区

6月26日 …ツミ (♀)、オナガ、ムクドリ、カワラヒワ、スズメ、キジバト

若林幹夫

江戸川台地区

7月 3日 …ツミ (雛)、オナガ

森岩好明

7月 5日 …ツミ (幼鳥)

鈴木淑子

7月 7日 …ツミ (幼鳥)、オナガ

森岩好明

7月10日 …オナガ

森岩好明

7月16日 …ツミ (幼鳥)、オナガ

森岩好明

7月20日 …ツミ (幼鳥)、オナガ

森岩好明

7月21日 …ツミ (幼鳥)、オナガ (雛)

森岩好明

上新宿・北小屋地区

7月 1日 …アオサギ (13, 上空を通過)、ノスリ (3)

若林幹夫

7月 2日 …ノスリ (2)、ホトトギス

若林幹夫

9月14日 …ムクドリ、ハクセキレイ、ノスリ、シジュウカラ

若林幹夫

江戸川台地区



亜種チュウダイサギ 2023.09.16 落合



ホオジロ (♂) 2023.09.16 落合



ツミ (雛) 2023.07.03 森岩



オナガ 2023.07.03 森岩



オナガ 2023.07.10 森岩



ツミ (幼鳥) 2023.07.16 森岩

富士見台・中野久木地区

7月14日 … サシバ (幼鳥)

7月22日 … コムクドリ、ムクドリ、サシバ (2)、カワセミ

9月11日 … サシバ (♀)

9月22日 … サシバ (♀)、ヤマガラ

若林幹夫
若林幹夫
若林幹夫
若林幹夫

野田市地

9月14日 … ツツドリ (幼鳥)

森岩好明

★「鳥だより」をお寄せください。

【通勤、買い物途中などで見かけた鳥の身近な観察情報、初認情報などをお待ちしています。

【連絡先】 若林幹夫 〒270-0127 流山市富士見台1-367-49 FAX:04-7154-6339

e-mail:mikio-wa@rf6.so-net.ne.jp

次号の「鳥だより」は12月20日までをお願いします。

★引続き「鳥見ばなし」も随時募集中です。

つれづれなる鳥談義、プライベートな鳥見ばなし、ほんの身近なちょい話し、なんでも結構です。

【連絡先】 相馬利雄 〒270-0163 流山市南流山6-27-11 FAX:04-7159-0972

e-mail:t.souma1956@gmail.com



ツミ (幼鳥) 2023.07.16 森岩



オナガ (雛) 2023.07.21 森岩



オナガ (雛) 2023.07.21 森岩

野田地区



ツミ (幼鳥) 2023.07.21 森岩



ツミ (幼鳥) 2023.07.21 森岩



ツツドリ (幼鳥) 2023.09.14 森岩

◆ 今後の行事予定

● 10月（第293回）定例観察会

日 時：10月15日（日曜日）
場 所：市野谷・水鳥の池
集 合：流山おおたかの森駅 東武線改札口前 午前9時（雨天中止）
解 散：12時ころ
持 物：弁当なし

● 11月（第294回）定例観察会

日 時：11月19日（日曜日）
場 所：利根運河・西深井
集 合：運河駅 改札口を出て左側「利根運河ギャラリー」 午前9時（雨天中止）
解 散：12時ころ
持 物：弁当なし

● 12月（第295回）定例観察会

日 時：12月17日（日曜日）
場 所：野々下・総合公園
集 合：豊四季駅 南口階段下 午前9時（雨天中止）
解 散：12時ころ
持 物：弁当なし

<市外観察会>手賀沼観察会

日 時：12月3日（日曜日）
集 合：北柏駅 南口階段下 午前9時（雨天中止）
解 散：①ゆとりコース 12時ころ ②健脚コース 14時ころ
持 物：弁当あり

※ 9時～14時と長いため、2コースに分けます。

① 9時～12時コース（ひどり橋で昼食をとり、鳥合わせ後に解散。北柏駅へ戻ります。）

② 9時～14時コース（引き続き、展望台まで延長します。ミサゴをみるぞー！）

※市外観察会は、流山野鳥同好会会員限定の申し込み制となります。（WEB会員の方は参加できません。）

できるだけホームページの「会員ページ」→「申し込みフォーム」からお申し込みください。

または、ホームページお問い合わせメール mail：wbc-nagareyama.net/contactus/

電話の場合は、相馬 070-9082-1239 にお願ひします。

雨模様で開催判断に迷う場合は、メール連絡を予定しています。

◆新入会員の紹介

小林八重子さん 伊藤春美さん

●どうぞよろしくお願ひします。

◆令和5年9月30日現在の会員数

単体会員 41名 + 家族会員 19名 = 合計 60名

流山野鳥同好会会報 No. 145 2023年10月10日発行（年4回発行1月・4月・7月・10月）

発行人 相馬 利雄

連絡先 〒270-0163 千葉県流山市南流山6-27-11 TEL・FAX：04-7159-0972

携帯：070-9082-1239 Mail：t.souma1956@gmail.com

郵便為替口座 加入者名「流山野鳥同好会」口座番号：00130-3-608241
